



認証番号：第3号

認証年月日：2007年9月21日

2022年度 家電製品PLセンター年次報告書

2023年6月

一般財団法人家電製品協会
家電製品PLセンター

URL: <https://www.aeha.or.jp/plc/>

目 次

2022 年度事業報告

1. 2022 年度相談等受付状況	
(1) 受付内容別・相談者別受付状況	1
(2) 製品別受付状況	2
(3) 月別受付状況	4
(4) 都道府県別受付状況	5
(5) 相談等受付件数の推移	6
2. 情報開示及び広報活動等	
(1) 情報開示	9
(2) 広報活動	10
(3) 会議等	10
3. 2022 年度に終了した斡旋案件事例	11
4. 2022 年度の主な拡大損害事故相談事例	11
家電製品 PL センターの業務の対象とする家電製品 [参考]	20

2022 年度事業報告

1. 2022 年度相談等受付状況

(1) 受付内容別・相談者別受付状況

① 受付内容別

2022 年度の相談等受付件数は、2,074 件、前年比 118%と前年度を上回りました。また、斡旋手続は、ありませんでした。

相談内容別では、拡大損害事故相談が 122 件で、前年比 92%と減少し、非拡大損害事故相談は 25 件で、前年比 37%と大きく減少、損害事故相談合計では 147 件で、前年比 74%と減少しました。一方、一般相談は 1,927 件で前年比 123%でした。

	受付件数	前年比	構成比
拡大損害事故相談 ^{※1}	122	92%	5.9%
非拡大損害事故相談 ^{※2}	25	37%	1.2%
損害事故相談 ^{※3}	147	74%	7.1%
一般相談 ^{※4}	1,927	123%	92.9%
相談案件計	2,074	118%	100.0%
斡旋案件 ^{※5}	0		0%
総受付件数	2,074	118%	100.0%

※1 拡大損害事故相談：家電製品が原因と思われる、生命や身体、財産等への被害が生じた事故に係る相談。

※2 非拡大損害事故相談：家電製品が原因と思われる事故であって、拡大損害が生じなかった事故に係る相談。

※3 損害事故相談：家電製品が原因と思われる損害事故に係る相談。

※4 一般相談：家電製品に関する損害事故以外の問合せや苦情等。

※5 斡旋案件：家電製品が原因と思われる損害事故による紛争を、当センターが斡旋した案件。

② 相談者別

相談者別では、一般消費者からの相談が 1,515 件(前年比 120%)で構成比が 73.0%と多く、続いて消費生活センターを主とした行政からが、479 件(前年比 110%)で構成比が 23.1%になっています。

一般消費者のうち、行政の紹介で当センターに相談するケースが 50%を超え、全体の 77.1%が行政もしくは行政を経由した相談になっています。

	受付件数	前年比	構成比
一般消費者	1,515	120%	73.0%
（うち行政の紹介）	(1,120)	(140%)	(54.0%)
事業者 ^{※1}	50	102%	2.4%
行政 ^{※2}	479	110%	23.1%
その他	30	158%	1.5%
総受付件数	2,074	118%	100.0%

→ 行政関与
77.1%

※1 事業者：家電製品の製造、販売、輸入、据付工事または修理等を行う者及び企業等。

※2 行政：消費生活センター、官公庁、自治体等の行政機関。

(2) 製品別受付状況

①総受付件数

ルームエアコンから冷蔵庫までの上位5製品は、年度により若干順位の変動はあるものの、例年と同じく上位を占め、全体の46%を占めています。

受付件数全体では前年比118%と増加しています。

		受付件数	前年比	構成比	[参考：前年度]	受付件数	
1位	ルームエアコン	344	130%	16.6%	1位	ルームエアコン	265
2位	洗濯機	184	148%	8.9%	2位	テレビ	155
3位	テレビ	172	111%	8.3%	3位	パソコン(含タブレット)	134
4位	パソコン(含タブレット)	135	101%	6.5%	4位	洗濯機	124
5位	冷蔵庫	127	109%	6.1%	5位	冷蔵庫	117
6位	電子レンジ	73	143%	3.5%	6位	掃除機	63
7位	掃除機	63	100%	3.0%	7位	スマホ・携帯電話	53
8位	スマホ・携帯電話	44	83%	2.1%	8位	電子レンジ	51
9位	電気炊飯器	32	86%	1.5%	9位	電気炊飯器	37
10位	温水洗浄便座	31	163%	1.5%	10位	ヘアドライヤー	30
1～10位計		1,205		58.1%	1～10位計		1,029
合計		2,074	118%	100.0%	合計		1,765

②損害事故相談

損害事故に関する相談は、147件(前年比74%)でした。製品別では、洗濯機が21件(前年比75%)と最も多く、次いでルームエアコン11件(前年比48%)となりました。

		受付件数	前年比	構成比	[参考：前年度]	受付件数	
1位	洗濯機	21	75%	14.3%	1位	洗濯機	28
2位	ルームエアコン	11	48%	7.5%	2位	ルームエアコン	23
3位	冷蔵庫	8	133%	5.4%	3位	パソコン(含タブレット)	11
4位	その他電気暖房機	7	233%	4.8%	4位	テレビ	9
5位	電子レンジ	5	167%	3.4%	5位	冷蔵庫	6
5位	ヘアドライヤー	5	83%	3.4%	5位	加湿器	6
7位	電気ストーブ	4	67%	2.7%	5位	ヘアドライヤー	6
7位	加湿器	4	67%	2.7%	5位	電気ストーブ	6
					5位	スマホ・携帯電話	6
1～7位計		65		44.2%	10位	洗濯機	5
合計		147	74%	100.0%	1～10位計		106
					合計		200

②ー i 拡大損害事故相談

生命や身体、財産等への被害が生じた拡大損害事故に関する相談は122件(前年比92%)でした。製品別では、洗濯機が20件(前年比80%)と最も多く、次いでルームエアコンが10件(前年比83%)でした。洗濯機的主要相談内容は、水漏れ、洗濯物の破れ、洗濯機の振動等による壁等の周囲破損です。

					[参考：前年度]		
		受付件数	前年比	構成比		受付件数	
1位	洗濯機	20	80%	16.4%	1位	洗濯機	25
2位	ルームエアコン	10	83%	8.2%	2位	ルームエアコン	12
3位	冷蔵庫	8	160%	6.6%	3位	パソコン(含タブレット)	6
4位	ヘアドライヤー	5	125%	4.1%	4位	冷蔵庫	5
5位	電気ストーブ	4	100%	3.3%	4位	電気温風機	5
5位	電子レンジ	4	200%	3.3%	4位	加湿器	5
5位	加湿器	4	80%	3.3%	7位	ヘアドライヤー	4
8位	その他電気暖房機	3	100%	2.5%	7位	電気ストーブ	4
8位	ふとん乾燥機	3	+++	2.5%		1～7位計	66
8位	スマホ・携帯電話	3	100%	2.5%		合計	133
	1～8位計	64	-	52.5%			
	合計	122	92%	100.0%			

注) 前年実績が無い場合は「+++」を表示

②ー ii 非拡大損害事故相談

損害事故のうち製品以外に被害が生じなかった非拡大損害事故に関する相談は25件(前年比37%)でした。製品別ではその他電気暖房機が4件と最も多く、次いでLED器具3件(前年比150%)となりました。各製品に共通する主要相談内容は、電気部品の過熱などによる発煙、発火となっています。

					[参考：前年度]		
		受付件数	前年比	構成比		受付件数	
1位	その他電気暖房機	4	+++	16.0%	1位	ルームエアコン	11
2位	LED器具	3	150%	12.0%	2位	テレビ	9
2位	パソコン(含タブレット)	3	60%	12.0%	3位	パソコン(含タブレット)	5
4位	空気清浄機	2	+++	8.0%	4位	洗濯機	3
4位	配線器具	2	100%	8.0%	4位	ジャーポット	3
	1～4位計	14	-	56.0%	4位	スマホ・携帯電話	3
	合計	25	37%	100.0%		1～4位計	34
						合計	67

注1) 相談件数1件の製品は、多数あるため、
5位以下省略

注3) 相談件数1件の製品は、多数あるため、
5位以下省略

注2) 前年実績がない場合は「+++」を表示

③一般相談

製品の品質や安全性、苦情等の一般相談は、1,927件（前年比123%）でした。製品別では、エアコンが333件（前年比138%）と最も多く、次いでテレビが169件（前年比116%）、洗濯機が163件（前年比170%）となっています。

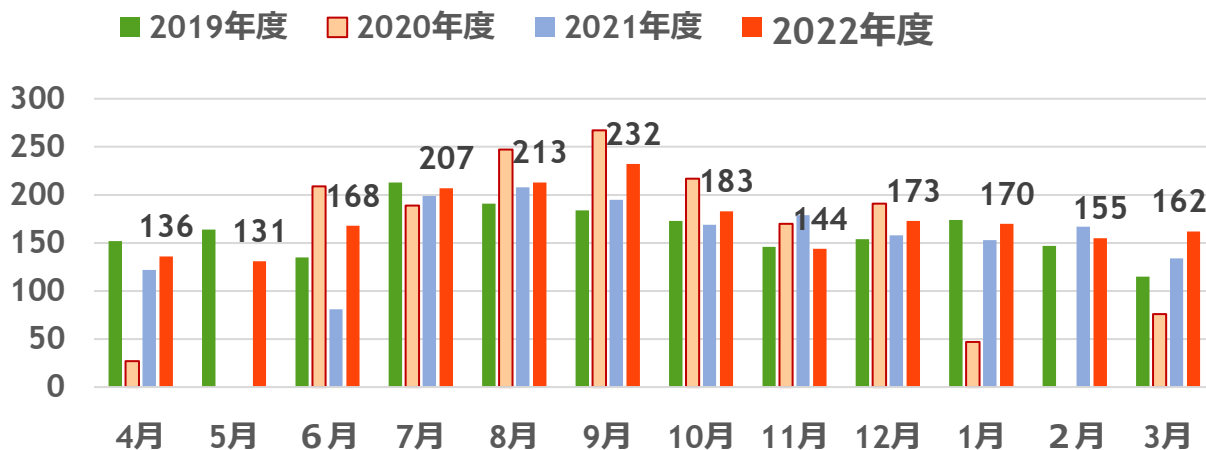
相談の内容は、故障に関連するものや、メーカーの対応への不満などが多くなっています。

また、エアコンでは、据付工事や性能に関する苦情の相談が多く寄せられました。

		受付件数	前年比	構成比	[参考：前年度]		受付件数
1位	ルームエアコン	333	138%	17.3%	1位	ルームエアコン	242
2位	テレビ	169	116%	8.8%	2位	テレビ	146
3位	洗濯機	163	170%	8.5%	3位	パソコン(含タブレット)	123
4位	パソコン(含タブレット)	132	107%	6.9%	4位	冷蔵庫	111
5位	冷蔵庫	119	107%	6.2%	5位	洗濯機	96
6位	電子レンジ	68	142%	3.5%	6位	掃除機	59
7位	掃除機	62	105%	3.2%	7位	電子レンジ	48
8位	スマホ・携帯電話	41	87%	2.1%	8位	スマホ・携帯電話	47
9位	電気炊飯器	32	97%	1.7%	9位	電気炊飯器	33
10位	映像記録再生機	30	111%	1.6%	10位	映像記録再生機	27
1～10位計		1,149		59.6%	1～10位計		932
合計		1,927	123%	100.0%	合計		1,565

(3) 月別受付状況

2022年度の月別相談件は11月と2月を除き、前年を上回りました。



(4) 都道府県別受付状況

都道府県別受付件数は、人口に比例すると思われませんが、人口100万人あたりの受付件数では、全国計が16.6件/100万人となっています。全国計を上回る地区は、関東、北陸、近畿、九州の4地区であり、特に東京、山梨、石川、滋賀、兵庫、奈良、和歌山の各県は20件/100万人以上の高水準となっています。

一方、5件/100万人に満たない県は、青森、岩手、山形、福島、大分です。

	受付状況			件数/※ 100万人		受付状況			件数/※ 100万人
	受付 件数	前年比	構成比			受付 件数	前年比	構成比	
北海道	60	113%	2.9%	11.7	滋賀県	34	162%	1.6%	24.1
青森県	5	125%	0.2%	4.2	京都府	43	154%	2.1%	16.9
岩手県	5	167%	0.2%	4.2	大阪府	163	113%	7.9%	18.6
宮城県	33	85%	1.6%	14.5	兵庫県	165	114%	8.0%	30.5
秋田県	6	120%	0.3%	6.5	奈良県	28	108%	1.4%	21.4
山形県	3	43%	0.1%	2.9	和歌山県	19	317%	0.9%	21.0
福島県	8	67%	0.4%	4.5	近畿計	452	122%	21.8%	22.2
東北計	60	86%	2.9%	7.1	鳥取県	3	43%	0.1%	5.5
茨城県	34	100%	1.6%	12.0	島根県	5	167%	0.2%	7.6
栃木県	32	119%	1.5%	16.8	岡山県	24	100%	1.2%	12.9
群馬県	32	110%	1.5%	16.7	広島県	41	178%	2.0%	14.9
埼玉県	134	147%	6.5%	18.3	山口県	24	133%	1.2%	18.3
千葉県	112	172%	5.4%	17.9	中国計	97	129%	4.7%	13.6
東京都	315	122%	15.2%	22.4	徳島県	10	200%	0.5%	14.2
神奈川県	183	96%	8.8%	19.8	香川県	10	125%	0.5%	10.7
関東計	842	121%	40.6%	19.3	愛媛県	20	69%	1.0%	15.3
新潟県	14	280%	0.7%	6.5	高知県	4	200%	0.2%	5.9
長野県	22	96%	1.1%	10.9	四国計	44	100%	2.1%	12.2
山梨県	21	117%	1.0%	26.2	福岡県	89	127%	4.3%	17.4
甲信越計	57	124%	2.7%	11.5	佐賀県	15	100%	0.7%	18.7
富山県	19	211%	0.9%	18.7	長崎県	24	300%	1.2%	18.7
石川県	32	160%	1.5%	28.6	熊本県	27	193%	1.3%	15.7
福井県	4	100%	0.2%	5.3	大分県	2	17%	0.1%	1.8
北陸計	55	167%	2.7%	19.1	宮崎県	13	72%	0.6%	12.4
岐阜県	27	104%	1.3%	13.9	鹿児島県	28	80%	1.4%	17.9
静岡県	50	89%	2.4%	14.0	沖縄県	13	65%	0.6%	8.9
愛知県	88	110%	4.2%	11.7	九州計	211	110%	10.2%	16.7
三重県	31	119%	1.5%	17.8					
東海計	196	104%	9.4%	13.3	全国計	2,074	118%	100.0%	16.6

※「件数/100万人」は、人口100万人あたりの受付件数です。人口は、2022年10月1日時点の総務省人口推計より。

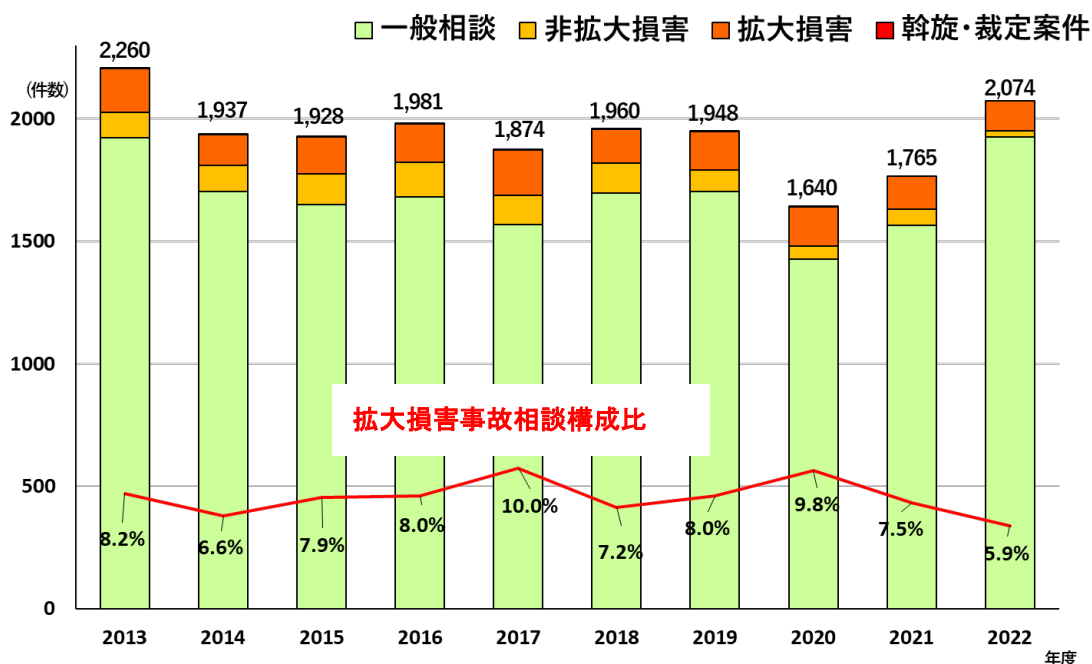
注) 前年実績がない場合は「+++」を表示

(5) 相談等受付件数の推移

① 受付内容別

1995年の当センター開設以来28年間の累計総受付件数は、48,954件となりました。2014年度以降、年間受付件数は、2,000件弱で推移してきましたが、コロナ禍の2020年度、2021年度は若干減少。2022年度はコロナ禍以前の水準に回復し、9年ぶりに2,000件を超えました。

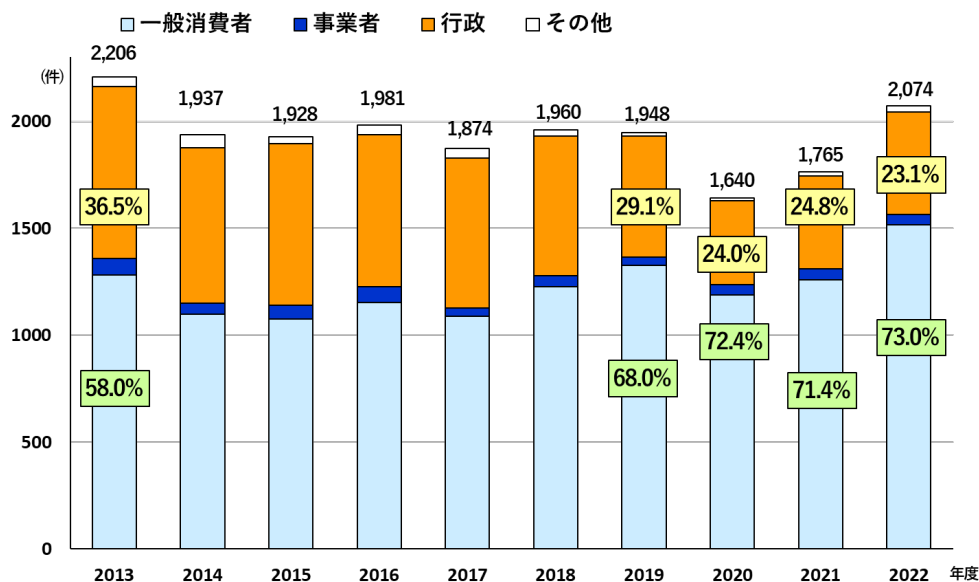
※拡大損害事故構成比 = (拡大損害事故相談 + 斡旋・裁定案件) / 総受付件数



② 相談者別

2013年度以降は、消費生活センターを主とした行政からの相談が約4割、一般消費者からの相談が約6割で推移してきました。近年は行政からの相談割合が低く、消費者からの相談割合が若干高い傾向となっている中、2022年度は、特に行政からの相談割合が23.1%と低く、消費者からの相談割合が、73.0%と高くなっています。

(詳細は、8ページのデータを参照)



[受付内容別件数]

年度	総受付 件数						一般※ ⁴ 相談	斡旋※ ⁵ ・裁定 案件
		相談 案件計	損害※ ³ 事故 相談	拡大※ ¹ 損害事故 相談	非拡大※ ² 損害事故 相談			
1995	1,796	1,713	60	35	25	1,653	83	
1996	1,222	1,186	63	33	30	1,123	36	
1997	1,053	1,018	71	30	41	947	35	
1998	1,022	965	94	53	41	871	57	
1999	1,147	1,058	107	73	34	951	89	
2000	1,555	1,447	184	102	82	1,263	108	
2001	1,583	1,476	188	93	95	1,288	107	
2002	1,576	1,518	178	110	68	1,340	58	
2003	1,472	1,409	202	117	85	1,207	63	
2004	1,539	1,517	228	132	96	1,289	22	
2005	1,843	1,820	253	149	104	1,567	23	
2006	1,982	1,971	335	177	158	1,636	11	
2007	1,930	1,925	388	200	188	1,537	5	
2008	2,206	2,199	387	198	189	1,812	7	
2009	1,693	1,691	363	207	156	1,328	2	
2010	1,683	1,677	379	232	147	1,298	6	
2011	2,181	2,177	258	176	82	1,919	4	
2012	2,158	2,155	239	172	67	1,916	3	
2013	2,206	2,204	280	179	101	1,924	2	
2014	1,937	1,934	231	124	107	1,703	3	
2015	1,928	1,927	277	152	125	1,650	1	
2016	1,981	1,979	299	156	143	1,680	2	
2017	1,874	1,872	303	186	117	1,569	2	
2018	1,960	1,958	262	139	123	1,696	2	
2019	1,948	1,947	243	156	87	1,704	1	
2020	1,640	1,639	211	160	51	1,428	1	
2021	1,765	1,765	200	133	67	1,565	0	
2022	2,074	2,074	147	122	25	1,927	0	
累計	48,954	48,221	6,430	3,796	2,634	41,791	733	

- ※¹ 拡大損害事故相談：家電製品が原因と思われ、生命や身体、財産等への被害が生じた事故に係る相談。
 ※² 非拡大損害事故相談：家電製品が原因と思われる事故であって、拡大損害が生じなかった事故に係る相談。
 ※³ 損害事故相談：家電製品が原因と思われる損害事故に係る相談。
 ※⁴ 一般相談：家電製品に関する損害事故以外の問合せや苦情等。
 ※⁵ 斡旋・裁定案件：家電製品が原因と思われる損害事故により、当センターが斡旋または裁定の手続きをした案件。

[相談者別件数]

年度	総受付 件数	一般 消費者		事業者※1		行政※2		その他	
		件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1995	1,796	632	35.2%	696	38.8%	253	14.1%	215	12.0%
1996	1,222	491	40.2%	385	31.5%	231	18.9%	115	9.4%
1997	1,053	487	46.2%	290	27.5%	231	21.9%	45	4.3%
1998	1,022	517	50.6%	191	18.7%	278	27.2%	36	3.5%
1999	1,147	659	57.5%	204	17.8%	245	21.4%	39	3.4%
2000	1,555	939	60.4%	218	14.0%	367	23.6%	31	2.0%
2001	1,583	1,009	63.7%	182	11.5%	353	22.3%	39	2.5%
2002	1,576	1,054	66.9%	183	11.6%	302	19.2%	37	2.3%
2003	1,472	1,015	69.0%	142	9.6%	300	20.4%	15	1.0%
2004	1,539	1,100	71.5%	112	7.3%	305	19.8%	22	1.4%
2005	1,843	1,340	72.7%	139	7.5%	346	18.8%	18	1.0%
2006	1,982	1,401	70.7%	117	5.9%	446	22.5%	18	0.9%
2007	1,930	1,365	70.7%	96	5.0%	450	23.3%	19	1.0%
2008	2,206	1,676	76.0%	128	5.8%	392	17.8%	10	0.5%
2009	1,693	1,208	71.4%	87	5.1%	396	23.4%	2	0.1%
2010	1,683	1,120	66.5%	93	5.5%	468	27.8%	2	0.1%
2011	2,181	1,250	57.3%	105	4.8%	824	37.8%	2	0.1%
2012	2,158	1,189	55.1%	105	4.9%	833	38.6%	31	1.4%
2013	2,206	1,280	58.0%	78	3.5%	805	36.5%	43	1.9%
2014	1,937	1,097	56.6%	51	2.6%	729	37.6%	60	3.1%
2015	1,928	1,076	55.8%	65	3.4%	754	39.1%	33	1.7%
2016	1,981	1,154	58.3%	74	3.7%	709	35.8%	44	2.2%
2017	1,874	1,088	58.1%	38	2.0%	703	37.5%	45	2.4%
2018	1,960	1,228	62.7%	51	2.6%	651	33.2%	30	1.5%
2019	1,948	1,325	68.0%	40	2.1%	566	29.1%	17	0.9%
2020	1,640	1,187	72.4%	48	2.9%	393	24.0%	12	0.7%
2021	1,765	1,260	71.4%	49	2.8%	437	24.8%	19	1.0%
2022	2,074	1,515	73.0%	50	2.4%	479	23.1%	30	1.5%
累計	48,954	30,662	62.6%	4,017	8.2%	13,246	27.0%	1,029	2.1%

※1 事業者：家電製品の製造、販売、輸入、据付工事または修理等を行う者及び企業等。

※2 行政：消費生活センター、官公庁、自治体等の行政機関。

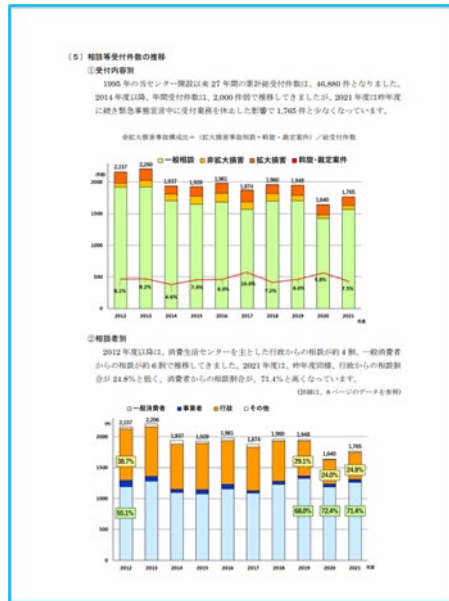
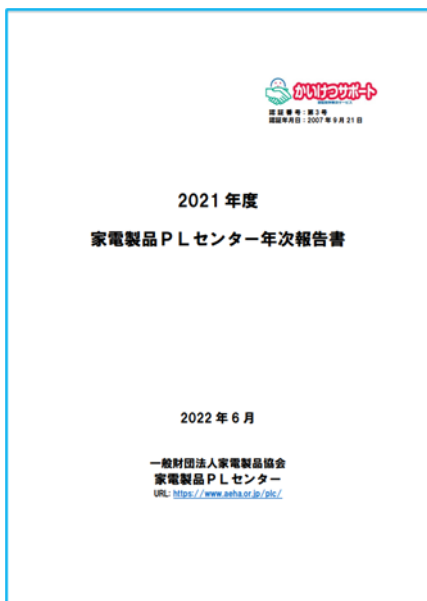
2. 情報開示及び広報活動等

(1) 情報開示

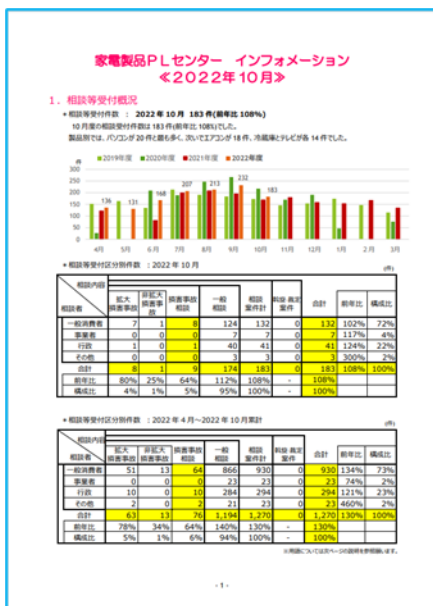
当センターのWebサイトに「2021年度年次報告書」を掲載するとともに、毎月初旬に月次の「インフォメーション」として、相談受付状況や拡大損害事故相談事例を紹介し、製品事故の未然防止と再発防止及び当センターの活用促進を目的に情報開示を行いました。

また、関係工業会との連絡会を開催し、製品別相談状況等の情報提供を行うとともに、重要な相談案件については、発生の都度、情報提供を行いました。

【2021年度 年次報告書】



【月次インフォメーション】



2. 主な拡大損害事故相談事例

- 【電気洗濯機】3年前に新築住宅に設置した全自動洗濯機が水漏れし、床のウレタン材が腐蝕した。メーカーは排水ホースの接続が原因で、床の腐蝕は付いたことが確認されたが、床の腐蝕は原因が不明である。補償は原因を調査する必要がある。【消費者】
- 【電気洗濯機】5年前に購入した洗濯機が水漏れし、2階の天井裏まで水が漏れ、メーカーに申し込んだところ、数日前の給湯機の交換した部品が原因だと、床の全面腐蝕も原因だとメーカーに断られているが、1か月前に原因が不明なままに交換された。【消費者】
- 【その他洗濯機】4年前に購入した洗濯機が水漏れし、2階の天井裏まで水が漏れ、メーカーに申し込んだところ、数日前の給湯機の交換した部品が原因だと、床の全面腐蝕も原因だとメーカーに断られているが、1か月前に原因が不明なままに交換された。【消費者】
- 【エアコン】購入したエアコンが水漏れし、新築住宅2階天井裏まで水が漏れ、原因が不明なままに交換された。メーカーに申し込んだところ、数日前の給湯機の交換した部品が原因だと、床の全面腐蝕も原因だとメーカーに断られているが、1か月前に原因が不明なままに交換された。【消費者】
- 【スマホ】購入したスマホが水漏れし、2階の天井裏まで水が漏れ、メーカーに申し込んだところ、数日前の給湯機の交換した部品が原因だと、床の全面腐蝕も原因だとメーカーに断られているが、1か月前に原因が不明なままに交換された。【消費者】

3. 相談または真定案件

- 今月の相談または真定案件の受付はありませぬ。

<閉鎖の説明>

- 真定案件相談：家電製品が原因と認められる損害事故に係る相談。
- 拡大損害事故相談：家電製品が原因と認められる損害事故に係る相談。生命・身体、財産等の被害が生じた場合に該当する相談。
- 行政からの相談：家電製品が原因と認められる損害事故に係る相談。行政からの相談。
- 一般相談：家電製品に関する損害事故以外の問合せや苦情等。
- 相談・真定案件：家電製品が原因と認められる損害事故により、当センターが原因または真定の手続きした案件。
- 事業者：家電製品の製造、販売、輸入、修理に業として従事する事業者からの相談。
- 行政：消費生活センター、警察、消防、自治体等の行政機関。

Webサイト URL ⇒ <https://www.aeha.or.jp/plc/houkoku/index.html>

(2) 広報活動

①関係工業会や当協会の製品安全関連の委員会等を通じて、当センターの活動状況を紹介し、当センター業務への理解を深めました。

(Web 会議等で実施)

団体・対象者等	実施日	主な内容
(一社)日本冷凍空調工業会 家庭用空調機安全専門委員会	2022/7/25	2022 年度活動報告 及び相談・斡旋事例 紹介等
(一社)日本配線システム工業会 普及・啓発委員会	2022/10/5	
当協会 賛助会員向け報告	2022/7/6	
当協会 製品安全委員会	6回/年	
当協会 消費者啓発委員会	4回/年	
当協会 アフターサービス委員会	2回/年	

(3) 会議等

当センターの公正な運営にあたって運営協議会を開催しました。

また、関係工業会との連絡会を開催し、拡大事故相談事例の報告等を行うとともに、製品安全に関する情報共有を実施しました。

会議名	開催日	主な議題
第 55 回 運営協議会	2022/6/27	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2021 年度事業報告及び収支決算 ・ 2021 年度活動報告
第 56 回 運営協議会	2022/12/9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2022 年度上期活動報告 ・ 2023 年度事業計画及び収支計画
第 59 回 家電製品 P L センター連絡会	2022/5/25	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2021 年度事業報告及び収支決算 ・ 2021 年度活動報告
第 60 回 家電製品 P L センター連絡会	2022/11/1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2022 年度上期活動報告 ・ 2023 年度事業計画及び収支計画

3. 2022 年度に終了した斡旋案件事例

2022 年度に斡旋手続を実施し、終了した斡旋案件はありませんでした。

4. 2022 年度の主な拡大損害事故相談事例

2022 年度に当センターに寄せられた家電製品が原因と思われ、生命や身体・財産等に損害が生じた事故に関する主な相談事例です。当センターでは、このような相談に対し、一般消費者と事業者の相対交渉の進め方等について助言を行っています。

	製品名	相談内容	相談者	月
1	冷蔵庫	購入後 16 年経過した冷蔵庫を壁紙の張替えのため、移動したところ、冷蔵庫からの液体漏れによりフローリングが損傷していることに気づいた。補償金額でメーカーと折り合わず、双方弁護士を立てて交渉中である。製品の欠陥を証明したいので調査機関を教えてほしい。	消費者	8 月
2	冷蔵庫	昨年、小型の冷蔵庫を購入した。購入 10 か月後くらいに突然大きな音がして冷蔵庫のドアが落ちて卵や牛乳が床に散らばり、床にもドアの痕が 2 か所ほどついてしまった。しばらくしてメーカーに修理を依頼したところ、部品の破損などはなく、通常は緩まない部分が緩んだことが原因とのことでドアを取付けただけで帰ってしまった。床の補償などをメーカーに求めたい。	消費者	1 月
3	冷蔵庫	冷蔵庫の下が汚れていたため、冷蔵庫の底に手を入れて掃除をしたら、指をケガしてしまった。メーカーに申し出たところ、取扱説明書に手を入れないよう注意表示を記載しているので、メーカーに責任は無いとの回答であった。納得できない。	消費者	1 月
4	冷蔵庫	3 年前に購入した冷蔵庫。昨年、冷蔵庫から水漏れが発生し、メーカーに霜取りの経路を清掃する修理をしてもらった。3 か月後再度水漏れし、フローリングが傷んだ。メーカーが製品を引き上げ調査し、結果を最近報告。霜取り水の中に魚の成分が検出されたことから、霜取り水の経路に魚が詰まったことが原因であり、床の補償はできないと言われた。納得できない。	消費者	1 月
5	冷蔵庫	昨秋、ドアをタッチすると自動で扉が開く冷蔵庫を購入した。右手でドアをタッチし、左手を庫内に入れようとしたところ、ドアと左腕がこすれて、皮膚が損傷してしまった。医療機関も受診した。メーカーに申し出たところ使い方の問題なので補償できないと言われた。補償は望	消費者	2 月

	製品名	相談内容	相談者	月
		まないが、取扱説明書への記載など注意喚起を要望したが意見を聞くとのコメントのみであった。真摯に対応してもらいたい。		
6	電子レンジ	電子レンジから発火し火災となった。メーカーは責任を認めている。家財の補償をメーカーに求めたい。弁護士に相談したところ、減価償却があるので購入した時の金額全額は請求できないと言われたが、本当か。	消費者	7月
7	電子レンジ	冷えた麦茶をマグカップに入れ自動温めキーを押したところ、金属の焦げるような臭いがしたため、取り消しキーを押して庫内を見たところ、麦茶は冷たいままであった。うっかり庫内天面を触ったところ、高温になっており、火傷を負った。メーカーに調査を依頼したが断られた。納得できない。	消費者	1月
8	IH クッキングヒーター	ビルトイン式 IH クッキングヒーターから発煙、製品が溶融し、システムキッチンにも被害が及んだ。消防の調査では、排気口の掃除不足が原因で発火した可能性があると言われた。消防の見解に納得できない。	消費者	11月
9	ハンドブレンダー	ハンドブレンダーで大根おろしをつくっていたところ、大根が詰まり刃の回転が止まってしまった。手で除去していたところ誤ってスイッチに触れてしまい人差し指に深い傷を負った。不注意は認めるが安全装置などの改善を要望したい。	消費者	11月
10	食器洗い乾燥機	10年以上前にマンションに設置したビルトイン食器洗い乾燥機が留守中に水漏れし、自宅及び階下の住戸まで被害が及んだ。メーカーに補償を求めたい。	消費者	11月
11	洗濯機	マンションの洗面室に設置したドラム式洗濯乾燥機から洗濯中に泡と水が漏れ、床や家財に被害が及んだ。メーカーの調査では、製品起因ではないとのこと。火災保険で対応したため、メーカーに損害賠償を求めるつもりはないが、リコールと謝罪を要求したい。どうすれば良いか。	消費者	7月
12	洗濯機	ドラム式洗濯乾燥機から水漏れし、フローリング、壁紙、家具などに被害が及んだ。メーカーの訪問は一週間後だという。今後、どうすれば良いか。	消費者	7月

	製品名	相談内容	相談者	月
13	洗濯機	戸建て住宅の洗面室に設置した縦型全自動洗濯機から水漏れし、床や家財に被害が及んだ。メーカーは製品に原因があることを認めて補償するとのことであるが、要求とメーカーが認める損害の範囲や補償金額に隔たりがある。どうすれば良いか。	消費者	7月
14	洗濯機	全自動洗濯機を運転中に水漏れしてマンションの階下にも被害が及んだ。メーカーが調査したところ、内部のホース外れが原因とのこと。メーカーから取扱説明書に免責事項として製品以外の補償はしない旨、記載しており、製品交換以外の対応はしないと言われた。そのような記載は有効なのか。	消費者	8月
15	洗濯機	3年前に新築住宅に設置した全自動洗濯機から水漏れし、床のクッション材が損傷した。メーカーは排水ホースの破れが原因であり、床の補償は行うと言っているが補償金額で折合うか不安である。補償とは別に慰謝料などを請求することは可能か。	消費者	9月
16	洗濯機	ドラム式洗濯乾燥機から水漏れし、リビングや和室等まで水が及んだ。メーカーに申し出たところ、数日前の修理の際に交換した部品不良が原因とのこと。床の全面張替えなどの補償をメーカーに求めているが、1か月以上回答がない。今後どのように交渉すれば良いか。	消費者	9月
17	洗濯機	BOX型の衣類乾燥機から水漏れし、築28年戸建て賃貸住宅のフローリング等が損傷した。メーカーに申し出たところ、製品の欠陥を認め、損傷した床の部分修復費用などを補償するとのこと。しかし、大家との賃貸借契約に基づき、フローリングは全面修復が必要であり、補償金額で折り合わない。どのように考えれば良いか？	消費者	9月
18	洗濯機	マンションにて10年以上使用している全自動洗濯機の排水ホースが製品側で外れ、床が水浸しになった。メーカーの調査では、排水ホースの接着剤が経年劣化したことが原因とのこと。このような事例はあるか。	消費者	10月
19	洗濯機	集合住宅の5階に設置した全自動洗濯機の給水ホースが破損し水漏れが発生し、階下の住戸まで被害が及んだ。給水ホースは市販品で家電量販店にて10年以上前に購入したものである。ホースメーカーを確認するとホースの取り回しにより外力が加わったことで破損した可能性が	消費者	10月

	製品名	相談内容	相談者	月
		あると言う。ホースメーカーに損害賠償請求することは可能か。		
20	洗濯機	縦型全自動洗濯機を使用中に水漏れが発生した。築30年住宅のフローリングが破損し、張替えが必要な状態である。販売店に確認してもらったところ、床が古いため洗濯機による振動が激しく内部のホースが破損して水が漏れたと言われた。メーカーに損害賠償を求めたい。	消費者	11月
21	洗濯機	縦型全自動洗濯機のパルセーターにTシャツが挟まり破損した。製品に問題があると思うがどうすれば良いか。	消費者	11月
22	洗濯機	1年前に購入した全自動洗濯機から水漏れし、床が損傷した。メーカーは製品内部のホースの亀裂が原因と欠陥を認めている。床の損傷についてメーカーに損害賠償を求めたい。	消費者	12月
23	洗濯機	約1年前に購入した全自動洗濯機から水漏れし、洗面室のフローリングが剥がれてしまった。メーカーは製品内部の蛇腹のホースが外れたことが原因で欠陥を認めている。損害賠償の考え方を教えてほしい。	消費者	12月
24	洗濯機	廊下に設置したBOX型の衣類乾燥機から水漏れし、フローリングを損傷した。メーカーに申し出たところ、製品の欠陥を認め、フローリングの張替え費用等補償することのこと。賃貸住宅管理会社とメーカー間で交渉しているが金額面で折り合っていない。差額を自分で負担しなければならない可能性がある。どのように考えれば良いか。	消費者	12月
25	洗濯機	ドラム式洗濯乾燥機の側面から水が多量に漏れて洗面室が水浸しになった。メーカーが来て動作確認したが水漏れは再現しなかった。現在、メーカーが製品を持ち帰り調査中である。今後どのように対応すれば良いか。	消費者	3月
26	洗濯機	衣類乾燥機が3週間前に焼損した。消防からは衣類乾燥機のプラグが差し込まれているコンセント付近の焼損が確認されていると言われている。今後どのようにすれば良いか。	消費者	3月
27	洗濯機	全自動洗濯機の底部から水漏れし、洗面所及び階下の住宅に被害が及んだ。当該機をメーカーが引き上げ、原因調査中。メーカー調査に時間が掛かっているがどうすれば良いか。	消費者	3月

	製品名	相談内容	相談者	月
28	ふとん乾燥機	ふとん乾燥機を運転したまま外出し、自宅マンションが半焼した。ふとん乾燥機が火元の可能性があるとのことで消防が持ち帰った。当該製品電源コードの本体根元付近が焼損していた。消防はメーカーと合同で当該製品の調査をする予定とのこと。今後どうしたらいいか。	消費者	1月
29	掃除機	ネットで購入したロボット型掃除機から発火し、壁が燃え、居室全体が煤けたため、部屋全体をリフォームした。火災保険にて建物の損害賠償はされた。メーカーに慰謝料や家財の損害賠償金を求めたところ、見舞金提示のみであった。どうすれば良いか。	消費者	6月
30	掃除機	スチームモップを使用中に動作しなくなったので、コンセントからプラグを抜いたところ火花が出て指に火傷を負った。メーカーに医療機関の診断書と治療費明細を送り、補償と謝罪を求めているが、まだ回答がない。今後、どうすれば良いか。	消費者	8月
31	扇風機	扇風機を使用中に発火し、フローリングが40cm四方ほど焦げた。消防通報は実施したが、他どのような対応をすれば良いか。	消費者	8月
32	扇風機	ネット通販で購入した冷風扇のACアダプタの電源プラグと壁のコンセントが焼け焦げた。通販会社に電話をしているが混みあっていてつながらない。どうすれば良いか。	消費者	8月
33	扇風機	3歳の子供が転んだ拍子に、運転中のタワー型扇風機の送風口に手の指が入り、一本がほぼ切断状態になった。縫合手術により指はつながったが、変形は残るかもしれないと言われている。メーカーに慰謝料も含め損害賠償請求したいが可能か。訴訟も考えている。	消費者	8月
34	加湿器	築40年の木造住宅2階に設置していた加湿器から水漏れしていたことに気が付いた。長期間の水漏れのため、2階の畳及び1階の床柱にカビが発生していた。メーカーから損賠賠償金額の提示があったが、その金額が妥当か貴センターに判定してほしい。	消費者	10月
35	加湿器	昨年購入した加熱式加湿器。使用后、お湯を捨てようとし、流しに運ぶ途中で本体を落下させ、左足を火傷した。医療機関にて3度熱傷との診断であった。取扱説明書の表示が小さく目立たない、本体に取っ手がなく、滑りやすい素	消費者	1月

	製品名	相談内容	相談者	月
		材で製品に問題があると考えている。メーカーは本件事故とは関連しない電源コード部分の不具合は認めて製品交換は行うが火傷の補償はしないとのことであった。納得できない。		
36	電気温風機	セラミックファンヒーターが動作しなくなり、確認すると電源コードの本体付け根部分が熔融し、床が焦げていた。メーカーに製品代金の返金と床の補償を求めたい。	消費者	4月
37	電気温風機	電源コード本体付け根付近からスパークして手のひらを火傷した。メーカーの調査結果待ちの状況であるが、メーカーに損害を補償してもらいたい。	消費者	2月
38	電気ストーブ	デスクヒーターから発火し、一戸建て住宅が全焼した。火災保険に加入していたのでメーカーへの損害賠償請求は考えていないが、謝罪を求めたい。どうすれば良いか。	消費者	6月
39	電気ストーブ	EC モールで購入したパネルヒーターから発火し、火災になり、消防と警察が出動した。パネルヒーターは中国メーカーの製品である。メーカーと連絡が取れないので EC モールに問合せしているが非協力的で困っている。日本の販売会社は架空会社の可能性も考えられる。このような事例はあるか。	行政	1月
40	電気ストーブ	10年以上前に購入したオイルヒーターを使用中に爆発し、オイルが飛び散り周辺を汚損した。メーカーに補償を求めたところ、10年以上使用した経年劣化が原因なので補償できないと言われた。	行政	2月
41	電気ストーブ	購入後、12年経過したオイルヒーターが使用中に爆発し、オイルが飛び散り周辺を汚損した。また、オイルを拭き取った際に手がかぶれた。メーカーから当該品を調査のために送付してほしいと言われたが応じて問題ないか。	行政	3月
42	電気カーペット	購入後、約20年の電気カーペットのコントローラ部分の底が熔融し、フローリングが少し焦げた。メーカーに損害の補償など請求できるか。	消費者	10月
43	その他電気暖房機	仕事を終え自宅のワンルームマンションに帰宅したところ、全焼していた。消防からは、電気毛布の電源コードの断線が原因と言われた。電気毛布は壁コンセントにプラグを挿していたが電源 OFF 状態であった。火災保険には加入していないが今後被害回復するにはどうしたら良いか。	消費者	9月

	製品名	相談内容	相談者	月
44	その他 電気暖房機	"蓄熱式電気湯たんぽを膝の上に置いて蓄熱していた。内部のお湯が適温になると自動的に蓄熱が終了する仕組みであるが、うたた寝の間に湯たんぽが膨張、その後破裂し、飛び散ったお湯で顔を火傷した。	消費者	2月
45	その他 電気暖房機	知人が電気蓄熱式湯たんぽを使用していたところ、当該製品が破裂し、背中、腕、腹を火傷し、1か月以上入院した。損害賠償請求を事業者にしようと考え、弁護士に相談したところ、消費生活センターを紹介された。しかし、消費生活センターからは貴センターを紹介された。	行政	3月
46	ヘアー ドライヤー	4～5年前に購入したヘアドライヤーを使用中、電源コードの本体付け根部分から発火し、着ていたトレーナーの袖口が焦げてしまった。現在メーカーで原因調査中であるが、以前にも同様の事象があり、その時は消費者起因による電源コードのねじれが原因と言われた。今回は注意して使用していたので製品交換を求めたい。	消費者	4月
47	ヘアー ドライヤー	新しく購入したブラシ付ヘアドライヤーを使用したところ、ブラシ部分の先が首に接触し、火傷を負った。治療費をメーカーに請求したが断られた。今後どのようにすれば良いか。	消費者	9月
48	ヘアー ドライヤー	ドライヤーを使用中、電源プラグの根元付近から発火し、着ていた衣類が焼け、火傷も負った。治療費に加え、慰謝料をメーカーに請求しても良いか。	消費者	7月
49	ヘアー ドライヤー	ヘアドライヤーを使用中に電源コードの本体付け根部分からスパークし、手に火傷を負った。メーカーに補償を求めたい。	消費者	11月
50	ヘアー ドライヤー	ヘアドライヤーを使用中に爆発音がしてファンが破損した。その影響で耳鳴りと難聴になり、医療機関を受診し、薬をもらっている。メーカーから治療費の支払いと製品交換の申し出があり、事故品を送付して欲しいと言われた。しかし、メーカーが信頼できず、事故品を送付することにためらいがある。どうすれば良いか。	消費者	11月
51	スチーム クリーナー	昨年末に修理から戻ってきたスチームクリーナーを使用したところ、熱湯が噴出し、フローリングが濡れた。すぐに拭いたが板の間の目地から水が滲んで浮くようになり、フローリングが波打ってきた。消費者はメーカーに損害賠償請求したいと言っているが、どのように考えれば良いか。	行政	6月

	製品名	相談内容	相談者	月
52	温水洗浄便座	新しく購入した温水洗浄便座の水圧を最弱設定にして使用したところ、高圧の水が出てお尻に怪我を負った。医療機関を受診したので治療費をメーカーに求めたい。	消費者	9月
53	エアコン	室内機の前面からの水漏れが4年連続して発生している。都度メーカーに修理をしてもらおうと一旦直るが次シーズンに再発する。メーカーは原因をはっきり言わない。水漏れにより梁が水分を含み損害が発生しているがメーカーは補償しないとのこと。どのように考えれば良いか。	消費者	6月
54	エアコン	戸建てリビングに設置したエアコンから水漏れし、カーテン、壁紙、フローリング、家具などが水浸しになった。メーカーは室内機内部の亀裂が原因と言っているが、被害補償についてははっきり回答しない。どのように対応すれば良いか。	消費者	7月
55	エアコン	エアコン室内機から水漏れし、下に置いてあった液晶テレビ、ノートPCなどが故障した。メーカーに点検してもらったところ、排水ホースに水垢が溜まったことが原因なので損害の補償はできないとのことであった。製品の不具合と思うので納得できない。	消費者	8月
56	エアコン	購入したてのエアコン室内機から水漏れし、新築住宅2階居室が水浸しになった。設置の不具合か製品の不具合か原因がはっきりしない。フローリングや家具に被害が及んでいるのでメーカー及び設置した販売店に補償を求めているが結論がでない。どう対応すれば良いか。	消費者	9月
57	エアコン	ペットのためにエアコンを運転したまま旅行に出かけ、帰宅したところ、エアコン室内機から水漏れしており、テレビ、ビデオ、カーペットなどに被害が及んだ。メーカーが調査したところ、ドレンの詰まりが原因のため被害の補償はできないとのことであった。そもそも原因に納得できない。	消費者	11月
58	エアコン	エアコン室内機から水漏れし、パソコン、ドレッサー、革製品に被害が及んだ。メーカーに損害賠償請求したが、なかなか結論が出ない。どうすれば良いか。	消費者	11月
59	エアコン	エアコン室内機から異音が出たため、覗き込んだところ、ルーバーの間からファンの破片が飛び出して左手中指に当たり、骨折した。メーカ	消費者	12月

	製品名	相談内容	相談者	月
		一から製品交換および治療費と見舞金の支払いの提案があったが納得できない。今後どのように対応すれば良いか。		
60	エアコン	親の家で火災が発生した。消防から、火災原因調査書を作成中であるが、エアコンの電源コード部分が何らかの原因でショートしたのではないかとされている。今後、どのように対応すれば良いか。	消費者	2月
61	除湿器	除湿機運転中に外出し、帰宅したところ、1畳ほどの広さで水漏れしていた。製品周辺にあった本やカバンが水に濡れてしまった。事業者申し出たが、補償しないという。どうすれば良いか。	消費者	7月
62	液晶テレビ	昨年購入した液晶テレビのヘッドホン端子にヘッドホンを差し込むと音量が最大となる不具合により耳に不調をおぼえ、医療機関を受診した。メーカーは不具合を認め、治療費は支払ったものの、修理をしても不具合がなかなか改善せず、対応も不誠実で納得できない。	消費者	12月
63	その他音響機器	片耳ワイヤレスイヤホンを充電中に当該製品から発火し、近傍の布団とソファに延焼した。	消費者	5月
64	その他音響機器	ワイヤレスイヤホンを装着したまま、就寝した。起床すると左耳からイヤホンが外れ、頬に水膨れを伴う火傷を負っていた。医療機関を受診したところ、痕が残る可能性があるとのこと。メーカーが調べたところ、製品に異常は認められず、本件は使用上の問題であると言われた。どのように考えれば良いか。	消費者	12月
65	ICレコーダー	9年前に購入したICレコーダーを布製袋に入れていた。製品の電池接点部分が過熱し、本体表面が溶融し袋も焦げた。電池は充電式ニッケル水素電池を使用している。製品のメーカーに責任は問えるか。	消費者	10月
66	スマートフォン	2年程前に購入したスマートフォンの電池が膨張したため、キャリアに連絡したところ、製品交換となった。新しい製品にデータを移行中に発火し、近傍のパソコンが損傷した。自身の保険でパソコンは補償されたが保険会社の調査のため、古いスマートフォンのキャリアへの返却が遅延したため、違約金を求められている。納得できない。	消費者	4月

	製品名	相談内容	相談者	月
67	スマートフォン	スマートフォンを就寝中に充電していたところ、本体から発煙し布団が煤けた。部屋中に煙が充満した際に煙を吸ってしまったが、身体に影響はないか。	消費者	7月
68	スマートフォン	スマートフォンを背負ったリュックの中に入れ、サイクリングをしていたところ、スマートフォンが発火した。リュックを背中から下した際、樹脂製のかごが損傷した。損害をメーカーに補償してもらいたい。	消費者	9月
69	ネットワーク機器	2年前から使用していたポケット Wi-Fi が熱で溶け、フローリングも焦げた。通信事業者から製品と床の補償はするが、自分で床修繕工事の手配をしてほしいと言われた。通信事業者ではなく自分自身で手配することに納得できない。	消費者	9月
70	家庭用医療機器	マッサージチェアを使用中、突然停止し、チェアの腰を揉むあたりから発火し、戸建て住宅が半焼した。当該製品は消防が検証中である。今後、どのように対応すれば良いか？	消費者	1月
71	家庭用美顔器	量販店にて購入した美顔器を初めて使用したところ、顔に火傷を負った。約1週間後に医療機関を受診したところ、火傷は治っているが今後、色素沈着の可能性はあると言われた。メーカーに申し出たところ、火傷の治療費は支払うが、色素沈着で保険適用外の治療をした場合の費用は負担しないとされた。今後どのように対応すれば良いか？	消費者	1月
72	家庭用EMS機器	製品を使用して腹部に火傷を負った。医療機関は受診していない。メーカーの指示で患部の写真をメールで送ったが1週間経っても何の返信もない。どのように対応すれば良いか。	消費者	6月

家電製品PLセンターの業務の対象とする家電製品 [参考]

当センターの業務の対象とする家電製品は、一般消費者が主に家庭内の日常生活で使用する家電製品であって、ここに公知いたします。[2018年1月16日更新]

■製品分類と関係団体

	製品分類	関係団体
1	調理・家事・暖房器・理美容機器等	一般社団法人 日本電機工業会
2	ルームエアコン等	一般社団法人 日本冷凍空調工業会
3	AV機器・パソコン等	一般社団法人 電子情報技術産業協会
4	家庭用複写機・家庭用事務機器等	一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会
5	電話機・情報通信機器等	一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会
6	電球・照明器具等	一般社団法人 日本照明工業会
7	配線器具等	一般社団法人 日本配線システム工業会
8	電池・携帯電灯等	一般社団法人 電池工業会
9	ホームヘルス機器等	一般社団法人 日本ホームヘルス機器協会
10	24時間風呂等	24時間風呂協議会

■対象製品一覧

1. 調理・家事・暖房器・理美容機器等

製品名	備考	製品名	備考
電気冷蔵庫 冷凍冷蔵庫 冷凍庫（フリーザー） ワインセラー等含む	業務用除く	ジャーポット 電気ケトル 電気ポット含む コーヒーメーカー	
電子レンジ オーブンレンジ含む		ジュースメーカー・ミキサー フードプロセッサー	
電気オーブン トースター		食器洗い乾燥機 食器乾燥機含む	
電気炊飯器 ジャー炊飯器 電子ジャー含む		家庭用生ごみ処理機 その他調理厨房機器 ゆで卵器 もちつき機	
電気こんろ	ビルトイン型・卓上型	ホームベーカリー	
電磁調理器（IH調理器）	卓上型	ロースター	
IHクッキングヒーター	ビルトイン型・据置き型	ホットサンドトースター 電気フライヤー 電気蒸し器 ハンドミキサー 精米機等	
ホットプレート グリルパン グリルなべ 電気なべ含む			

製品名	備考	製品名	備考
電気洗濯機		電気こたつ	
洗濯乾燥機		その他電気暖房器	
衣類乾燥機含む		電気あんか	
電気アイロン		湯たんぼ	
衣類用スチーマー		足温器	
裁縫用電気こて含む		電気座布団	
ふとん乾燥機		電気座いす	
電気掃除機		電気毛布等	
ハンドクリーナー		電気かみそり	
セントラルクリーナー		ヘアドライヤー	
床磨き機等含む		ロールブラシ	
スチームクリーナー		ヘアカーラー	
家庭用高压洗浄機		ヘアアイロン等含む	
換気扇		電動歯ブラシ	
浴室換気乾燥機	暖房付き含む	その他理美容機器	
扇風機		電気バリカン	
サーキュレーター		電気脱毛器	
冷風扇等含む		鼻毛カッター	
空気清浄機		フェイスケア機器	
脱臭器含む		頭皮ケア機器	
加湿器		ネイルケア機器等	
電気温水器	ヒートポンプ 給湯機除く	家庭用園芸機器	
電気温水洗浄便座		電気芝刈り機	
電気便座含む		電気草刈り機	
井戸ポンプ		園芸バサミ	
循環ポンプ		噴霧機	
ラインポンプ等含む		散水機等	
電気ストーブ		その他生活家電機器	
シーズヒーター		風呂水ポンプ	
オイルヒーター		鉛筆削り器	
ハロゲンヒーター		靴みがき機	
カーボンヒーター等		靴乾燥機	
電気温風器		タオル蒸し器	
セラミックファンヒーター等		ズボンプレスサー等	
電気カーペット		蚊取機等	

2. ルームエアコン等

製品名	備考	製品名	備考
ルームエアコン	店舗用・業務用エアコン除く	除湿機	

3. AV機器・パソコン等

製品名	備考	製品名	備考
テレビ		その他音響機器	
テレビ関連機器 地デジ/BS/CS チューナー 地デジ/BS/CS アンテナ AV プロジェクター 汎用リモコン等		アンプ チューナー レコードプレーヤー カセットデッキ DAT レコーダー CD プレーヤー MD プレーヤー スピーカー マイクロホン等	
映像記録再生機 BD/DVD/HDD レコーダー BD/DVD/HDD プレーヤー ビデオ機器(VTR) VHD/LD プレーヤー等		カーナビゲーションシステム	
ビデオカメラ	HDD・SD・テープ 式等	カーオーディオ	
システムオーディオ ステレオセット ラジカセ CD/MD ラジカセ等 ラジオ		その他民生用電子機器 パーソナル無線 トランシーバー等	
ヘッドホンステレオ デジタルオーディオプレーヤー ポータブル CD プレーヤー等		パソコン	
IC レコーダー		タブレット端末	
		外部記憶装置	HDD・光磁気ディスク等
		プリンター	
		パソコン関連機器 モニター等	

4. 家庭用複写機・家庭用事務機器等

製品名	備考	製品名	備考
家庭用複写機		電子手帳	
電卓		電子辞書	
文書裁断機(シュレッダー)		データプロジェクター	
ワープロ			

5. 電話機・情報通信機器等

製品名	備考	製品名	備考
電話機		ネットワーク関連機器	
ファクシミリ		ルーター	
携帯電話・スマートフォン	充電器・ケーブルは対象外	モデム	
インターホン		LAN スイッチ・ハブ等	

6. 電球・照明器具等

製品名	備考	製品名	備考
白熱電球	自動車用除く	LED ランプ	
一般照明用電球		白熱灯器具	
ハロゲン電球		蛍光灯器具	
豆球等		LED 器具	
蛍光ランプ		その他照明器具	自動車用除く
その他放電ランプ			
HID ランプ等			

7. 配線器具等

製品名	備考	製品名	備考
配線器具		住宅用分電盤	
コンセント			
スイッチ			
テーブルタップ等			

8. 電池・携帯電灯等

製品名	備考	製品名	備考
一次電池		ニッケル水素電池	乾電池互換タイプ
乾電池		携帯電灯	
リチウム一次電池			
ボタン電池等			

9. ホームヘルス機器等

製品名	備考	製品名	備考
家庭用医療機器		健康管理機器	
マッサージ器		電子血圧計	
低周波治療器		体重計	
電位治療器		体脂肪計	
磁気治療器		体組成計	
治療浴装置		歩数計	
光線治療器		心拍計	
電熱治療器		塩分計等	
吸入器等	家庭用美顔器		
アルカリ性電解水生成器		家庭用 EMS 機器	

10. 24 時間風呂等

製品名	備考	製品名	備考
24 時間風呂及び関連機器			

一般財団法人家電製品協会 家電製品PLセンター
2022年度年次報告書

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-7-1 霞が関東急ビル5F

フリーダイヤル：0120-551-110

TEL：03-3595-0771 FAX：03-3595-0767

URL：<https://www.aeha.or.jp/plc/>

編集：一般財団法人家電製品協会 家電製品PLセンター

発行：2023年6月